



# 羽合小学校 学校通信

平成26年6月2日 NO, 34

## 学力は点数か！？

議会などでも取り上げられることも多い学力向上問題ですが、今回は学力について考えたいと思います。

平成25年度に実施された「全国学力学習状況調査」(6年生が4月に受験します)の結果は下の表の通りです。

|    | 国語A   | 国語B   | 算数A   | 算数B   |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 羽合 | ◎66.2 | ○50.2 | ◎78.6 | △57.9 |
| 全国 | 62.7  | 49.4  | 77.2  | 58.4  |
| 県  | 63.9  | 50.4  | 78.1  | 60.2  |

◎は全国・県の平均を上回ったもの

○は全国を上回ったが県を下回ったもの

△は全国・県の平均を下回ったもの

わたしたちの羽合小学校の子どもたちを含めて、湯梨浜町の子どもたちの学力は低い低いと言われ続けています。(わたしたちの羽合小学校の子どもたちは昨年の結果を見ても、全国を3教科で上回り、内、2教科は県を上回り、トータルでは負けていないのですが・・・)

点数の低いのはダメで、点数を取らせることが大切だ、点数を取ることが学力だ、点数を取ることが素晴らしいことだ、点数を取ることが尊いのだ、そんな声まで聞こえてきそうです。いったい学力とは何なのでしょう。

### 【手段が目的化していませんか】

学校通信No, 1に羽合小学校の教育目標を掲げています。簡単にまとめると「目標の実現に向けて、ねばり強く挑戦できる子どもたちを育てたい」ということです。その教育目標を実現するために羽合小学校のすべての教育活動は行われます。各教科の授業も学級づくりも学校行事もみんなそのために行っています。

教科学習も、読み書きそろばんといわれるような生活に必要な基礎基本はもちろん、思考を深め、判断し、話し合ったり意見を交換し合ったりしながら結論を導く力を付けることによって、目標の実現させる力を付けようとしています。教科学習も手段のひとつなのです。

テストは教科学習で身に付けた力を計り、課題を見つけることによって、子どもたちは取り組み方を、教員は指導の方法を工夫改善するために行います。その手段としてのテストが最終目的化すると、点数を取ることがすべてであるかのように感じてしまうのかも知れません。

夢を叶えるためにテストで点数を取ることが必要なこともありますから、点数を取ることが否定されるものではありませんが、ただ、手段が目的化することのリスクは承知しておかねばなりません。

学力とは「教育目標の実現のために行う様々な教育活動によって育んだ力」なのです。続く

【着任のお知らせ】 6月1日付けで、学校栄養職員として 野見 恵 先生が着任されました。羽合給食センターが主な勤務先になりますが、学校での勤務もありますので紹介します。よろしくお願ひします。

羽合小学校 寺谷英則